

平成24年度
教育委員会事務の点検及び評価報告書
(平成23年度事務事業対象)

平成24年 9月
長門市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	4
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	4
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	4
3 点検及び評価の対象事業について	7
4 有識者の総括的な意見	8
5 各事務事業の点検及び評価結果	9

はじめに

長門市教育委員会は、毎年度、教育行政方針を策定し、「第1次長門市総合計画」に掲げる基本目標「個性豊かに人が輝くまち」づくりの教育行政を推進しています。

一方、昨今の地方教育行政を取巻く環境は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改正、教育における地方分権の推進、そして教育委員会の責任体制の明確化など、大きく変化しようとしています。

このような中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、客観性を確保するために教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成23年度事務のうち、主要な事務を対象に教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただいで作成したものです。

教育委員会の活動状況

1 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて臨時会を開催することとしています。

- ① 定例会・・・・・・・・・・12回（原則として毎月第4火曜日）
- ② 臨時会・・・・・・・・・・3回（随時）

(2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める事務（同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。）について、議案審議及び報告を行いました。取扱い案件は、次のとおりです。

付議案件等（平成23年4月～平成24年3月）

区分	内 容	件数
議案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	2
	規則及び規程の制定または改廃に関する事	12
	議会の議決を経るべき事件の議案に関する事	5
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関する事	
	人事に関する事	8
	附属機関等の委員等の委嘱等に関する事	9
	通学区域に関する事	
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関する事	1
	その他	5
報告		11
協議		3

(3) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

① 幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
5/23	仙崎小学校	5/25	神田小学校	5/30	油谷小学校
6/1	深川小学校	6/22	浅田小学校	6/27	向津具小学校

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
6/28	日置小学校	6/29	三隅中学校	7/ 5	宗頭幼稚園
7/ 7	俵山中学校	7/ 8	俵山小学校	7/12	日置中学校
10/ 5	明倫小学校	10/ 7	菱海中学校	10/12	深川中学校
10/24	向陽小学校	11/ 4	通小学校	11/21	仙崎中学校

② 研修会等

- ・山口県都市教育長会議 平成23年 4月18日
- ・山口県市教育委員会協議会総会 平成23年 4月18日
- ・山口県市町教育委員会教育長会議 平成23年 4月18日
- ・山口県市町教育委員会委員長会議 平成23年 4月18日
- ・山口県市町教育委員長・教育長会議 平成23年 4月18日
- ・山口県市町教育委員研修会議 平成23年 4月18日
- ・夏季山口県都市教育長会議 平成23年 7月14日
～15日
- ・秋季山口県都市教育長会議 平成23年10月13日
～14日
- ・長門市学校教育研究大会 平成23年11月 1日

③ 式典

- ・長門市立小学校入学式 平成23年 4月 8日
- ・長門市立中学校入学式 平成23年 4月 8日
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成24年 3月16日
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成24年 3月10日

教育委員会事務の点検及び評価制度

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

(2) 点検及び評価の対象

① 対象期間

平成23度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

② 対象事務

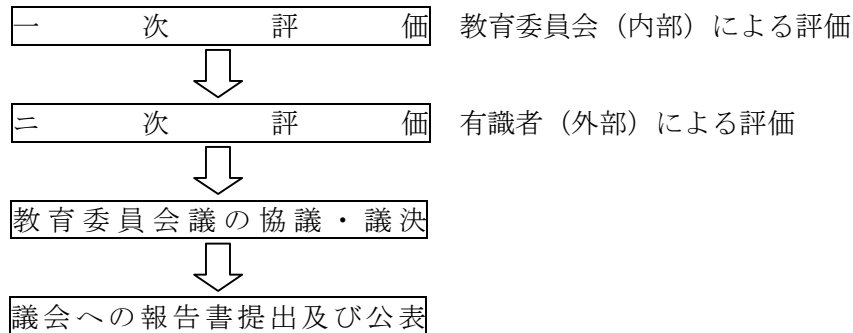
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている教育委員会の権限に属する事務（市長部局において補助執行している事務を含む。）及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

「第1次長門市総合計画」（平成19年度～平成28年度）に掲げる基本目標「個性豊かに人が輝くまち」づくりを推進するために策定した「平成23年度長門市教育行

政施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに活動状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果についてご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・村尾 紀孝（元小学校校長）
- ・中原ヤナエ（元小学校校長）
- ・松永 功（長門市PTA連合会会長）
- ・松野 圭子（元三隅町教育委員）
- ・倉本 優善（長門市PTA連合会副会長）

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

平成22年4月1日
教育委員会要綱第4号

（趣旨）

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号以下「法」という。）第27条第1項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

（点検及び評価の対象）

第2条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策

を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの（以下「事務事業」という。）とする。

（点検及び評価の実施）

第3条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

（点検及び評価に関する有識者）

第4条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は5人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

（市議会への報告等）

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

（補則）

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する

3 点検及び評価の対象事業について

基本目標	基本計画	基本施策	施策	事務事業	番号	
個性豊かな人々が輝くまち	学校教育・就学前教育の充実	就学前教育の充実	就学前教育の支援	幼保・小連携推進事業	1	
		学校教育の充実	教育内容の充実	外国語指導助手導入事業	2	
				特別支援教育充実事業	3	
				山口県青少年劇場等開催事業	4	
				金子みすゞ児童作品コンクール事業	5	
				研究指定校補助事業	6	
				就学指導委員会	7	
				教育支援センター事業	8	
				学力向上対策事業	9	
				いじめ問題に係る教育相談	10	
				教育環境の整備・充実	長門市学校給食センター運営管理事業	11
		深川小学校改築事業	12			
		油谷小学校改築事業	13			
		学校施設耐震補強事業	14			
		キャリア教育推進事業	15			
		教員・指導者の資質の向上	夏季教育研修講座	16		
			長門市教育研究大会	17		
		学校運営の効率化	学校統廃合事業	18		
	生涯学習の充実	生涯学習・スポーツの推進	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備	成人式開催事業	19	
				公民館指定管理事業	20	
				図書館の充実	21	
			地域・家庭教育の推進	家庭教育支援事業	22	
				スポーツの推進と参加促進	学校体育施設開放事業	23
			スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		24	
		長門市体育協会補助金	25			
		総合型地域スポーツクラブ育成	26			
		生涯学習・スポーツ指導者の育成	ニュースポーツ等指導者研修事業	27		
		人材・団体の育成	人材の発掘・活用	婦人団体活動支援事業	28	
				地域協育ネット事業	29	
			青少年健全育成の推進	放課後子ども教室推進事業	30	
				青少年健全育成団体支援事業	31	
			人権教育の推進	人権教育講座開設事業	32	
				人権教育啓発推進事業	33	
		個性が輝く文化の創造	伝統文化の保存・継承	地域の伝統文化の保存	文化財保存活用事業	34
				保存・継承活動への支援	文化施設運営事業	35

4 有識者の総括的な意見

有識者からは、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、教育行政全般について、次のとおりご意見をいただきました。

今回の点検及び評価が、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上, 質の高い教育を提供するという目的を達成できるよう、今後も改善しながら事務事業を執行していきます。

- 個々の事業について評価を行い、取り組むことも大事であるが、施策ごと等全体の総合的な評価が必要である。様式についても検討を要する。
- 目標が具体的に示されておらず、評価基準もあいまいである。可能な限り数値目標の設定が必要である。
- 各学校が、事業ごとに関係者アンケートを実施し、市の重点目標に係る取組状況（年度末評価書）を提出している。これらの内容を「評価の根拠」として活かされてはどうか。
- 点検及び評価の目的につながる有識者会議でありたい。形式的な会議ではなく、意見等が付されたものは、問題点や改善点、その事業の必要性等について十分検討されて、次年度以降の事業に反映してほしい。
- 学校教育については、合併後の一体感醸成、調整期を経て、また国や県の動向も踏まえながら、長門市教育の目指す姿がはっきりしてきた。保護者や地域住民と一緒に、地域の子どもの就学前から就学後9年間の育ちや学びを支え、考えていくという方針をもっとアピールしてもよいのでは。

5 各事務事業の点検及び評価結果

別紙のとおり

番 号	1	主 管 課	学校教育課
事 業 名	幼保・小連携推進事業		
施 策 名	就学前教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	就学前教育と小学校教育との間の「なめらかな移行や接続」を図るため、幼保・小連携教育推進協議会を設置し、年2回の推進協議会を開催する。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	54,000円 (20,106円)	44,000円 (23,032円)	44,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	・家庭との連携強化により諸問題の解決を図るため、本年度は、第1回の協議会に各園の保護者代表者にも出席を依頼した。幼保、小、保護者の三者による協議をとおして、保護者自身の家庭生活の振り返りや意識改革につながったとの報告を受けている。小学校入学期のスタートカリキュラムについても H22 年度に幼児教育長期研修を受講した下関市立川中小学校中島教諭を指導者として招聘し研修した。 《第1回協議会参加者数》 平成23年5月12日 ・幼稚園・保育園教職員 13名、小学校教員 11名 ・各幼稚園・保育園の保護者代表者 11名 《第2回協議会参加者数》 平成23年8月24日 ・幼稚園・保育園教職員 12名、小学校教員 11名		
課 題 と 今後の取組	小学校では幼児期に体験してきた遊び的要素を小学校生活の中心をなす教科学習に組み入れるなど、カリキュラムの編成を工夫していく。家庭の教育力向上も喫緊の課題のため、この時期の子育てについて保護者とともに研修の機会になるようにする。		

〔事業名〕 幼保・小連携推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「5歳児すこやか相談会」をNo.3に移したことは、すっきりして結構。○予算を有効に活用してほしい。○「就学前教育の支援」に係る取組みが継続的に推進されている。協議会に、幼・保の保護者が参加することも有意義であり、幼・保の家庭教育学級とも連動させて拡充していくとよい。また、この取組みが参加者だけのものにならないよう、各園・各校内での「ひろがり」に期待したい。
------	--

番 号	2	主 管 課	学校教育課
事 業 名	外国語指導助手導入事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	市内中学校英語授業における教員助手、小学校での外国語活動の補助、地域における国際交流活動への協力を目的とする。具体的には、ALT 一人あたり 200 回程度（1 学級あたり週 1 回程度派遣可能回数）各学校に派遣する。		
予 算 額 (決 算 額)	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度（当初）
	15,993,000 円 (14,947,451 円)	16,646,000 円 (15,077,612 円)	17,497,000 円
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	一昨年度 9 月より、民間委託による ALT 1 名が指導にあたっている（JET 派遣は 2 名） 中学校では、英語科担当教員の主導のもと、授業のねらいに則し指導助手として活用し、基礎的・基本的な学習内容の習得や発展的な学習の充実を図り、生徒の学習意欲の向上につなげている。小学校では外国語活動において、英語に自然と親しむためのプログラム作りや、コミュニケーション能力の育成、異文化理解等のねらいに基づき、ALT を効果的に活用している。 授業外でも教職員や生徒との積極的なコミュニケーション場面を持つようにしており、各校からのあげられた評価も高い。また、新学習指導要領の完全実施に伴う小学校の英語活動において、教員の英語運用力向上、授業づくりに寄与した。 （平成 2 3 年度 ALT 一人あたりの年間派遣回数 1 9 7 回）		
課 題 と 今 後 の 取 組	現在指導中の JET 派遣による ALT が平成 2 5 年 7 月末で任期が終わる。今後も優秀な ALT を確保し続けるため、JET 派遣・民間委託の継続を考えている。		

〔事業名〕 外国語指導助手導入事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○予算額アップの理由が明確でない。○高額報酬の外国人ALTでなくても、身近な日本人、人材で代替できるものがあるのではないか。○児童生徒が生き生きと外国語を学んでいる姿や、各学校が提出する評価書をもとに数値目標で評価できる事業である。ALTの研修も十分行われており、今後もJET派遣と民間委託それぞれのよさを生かしていくとよい。
------	---

番 号	3	主 管 課	学校教育課
事 業 名	特別支援教育充実事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、発達検査や教育相談を実施するとともに、教職員を対象とした研修会を実施する。また、市内年中児を対象として年2回「5歳児すこやか相談会」を実施する。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	294,000円 (201,665円)	262,000円 (239,870円)	239,000円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>特別な支援を要する園児児童生徒が増加する中、地域コーディネーターが有する高い専門性は、各園・各校への支援として欠かせない。</p> <p>《長門市特別支援教育補助教員研修会》平成23年8月2日 ・参加者数 28人(小学校20人、中学校8人) ・内 容 情報交換、講話(地域コーディネーター)</p> <p>《地域コーディネーターの活用》 ○サブセンター校(仙崎小学校)のコーディネーターの現況 ・訪問による相談件数(本人・保護者・教員) 94件 ・研修会講師(市教委主催研修会及び校内研修会) 10件 ○センター校(萩総合支援学校)のコーディネーターの現況 ・発達検査及び相談(幼稚園・保育園・小学校・中学校) 95件</p> <p>5歳児すこやか相談会は、多くの相談を受けニーズに応じた助言や対応を行うことができた。</p> <p>《第1回5歳児すこやか相談会》8/25 4名 11/24 5名 《第2回5歳児すこやか相談会》2/9 4名 3/8 6名 ※希望者が多かったため第1・2回目とも2回に分けて実施した。</p>		
課題と今後の取組	5歳児すこやか相談会は、案内回数を増やし、必要に応じた適切な支援につながるようにする。 また、地域コーディネーターを中心に個別の教育支援計画の作成を通して、相談支援の充実と相談後のフォローアップに一層努め、各小・中学校における校内支援体制の強化するとともに、気軽に相談できるような働きかけを行っていく。		

〔事業名〕 特別支援教育充実事業

外部評価	<p>○拡充が求められ、相談件数が倍増しているにもかかわらず、減額予算とは？</p> <p>○地域コーディネーターの育成プログラムの作成を。</p> <p>○子どもの育ちを支えるのに、「早期発見・早期支援」は重要であり、「すこやか相談会」「幼保巡回訪問」がきめ細かく行われていることは十分評価できる。また、入学後の相談活動や校内支援体制の構築に地域コーディネーターの存在は大きい。事務局担当者と地域コーディネーターとの連携も成果を挙げる要因となっている。</p>
------	---

番 号	4	主 管 課	学校教育課
事 業 名	山口県青少年劇場等開催事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>児童生徒が文化に親しむ人になるためには、子どもの頃から水準の高い優れた文化に直接ふれ、感性を高めていく必要がある。また、優れた芸術に直接接する機会を与えることで、豊かな心を育み、生きる喜びや感動を体験できる場とするために本事業を開催する。</p> <p>年間4校以上の児童・生徒にこのような機会を与えたい。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	459,000円 (315,000円)	459,000円 (378,000円)	459,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成23年度は5校を対象に実施した。児童生徒は、優れた演劇や演奏に感動したことを絵画や作文で表現したり、鑑賞から得たものを自分の演技や演奏に生かしたりしている。</p> <p>《公演実施対象校及び参加者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県青少年劇場小公演マリンバ・コンサート(向陽小 61 仙崎中 173) ・ふるさとやまぐち芸術等派遣公演(雅楽)(深川小 568) ・巡回ふれあい公演 三味線いろいろ(深川中 353、俵山中 30) 		
課 題 と 今後の取組	<p>限られた予算でより多くの児童生徒が優れた芸術に直接触れる機会を得るため、小中合同や近隣校合同開催を推進する。</p>		

〔事業名〕 山口県青少年劇場等開催事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○実施校がアンバランス。特に、中学校。○文化に直接触れる機会をつくることは大いに評価するところだが、近隣の一般市民にも開放する策を講じてもよいのでは。○みんなで「本物」を観たり聴いたりする経験は貴重である。国や県の支援を受けるこの事業を活用し、継続して実施できるとよい。
------	---

番 号	5	主 管 課	学校教育課
事 業 名	金子みすゞ児童作品コンクール事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市内の小学生を対象に、郷土の童謡作家「金子みすゞ」の作品を読み、感想文や感想画及び自由詩として表現された作品を募集し審査会を開催している。全児童数の2割程度の応募作品数を目標とし、優秀な作品については、表彰するとともに、多くの児童が作品にふれられるよう優秀作品集を作成する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	351,000円 (340,551円)	349,000円 (378,000円)	459,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本市ではみすゞのまなざしと感性を大切にした教育を推進している。各校においては「みすゞ読本」等の活用により、実態に応じた取組を行っている。また、本コンクールに対する保護者の関心も高く、夏期休業中に制作した作品が多く出品されている。本事業がみすゞ教育推進の一助となっている。</p> <p>平成23年度作品応募総数 305点 (感想文 40、感想画 77、自由詩 188)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 12点 ・優秀賞 22点 ・入選 52点 		
課 題 と 今後の取組	<p>みすゞ教育推進の拡充のために、専門家である金子みすゞ記念館学芸員の協力をいただきながら、子どもにとって感想がもちやすい課題詩を選び、より多くの児童が参加できるようにする。</p>		

〔事業名〕 金子みすゞ児童作品コンクール事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○予算額アップは結構。○「子どもにとって感想がもちやすい……」はいいことだが、何を基準に、誰が選ぶのか（客観性）。○みすゞが全国的に評価される今、もっと拡大して、全国区のコンクールにできればよいのでは。○金子みすゞは全国的である。市内にとどまらず全国に発信し、長門市のみすゞ教育をPRすべきである。○特別な予算を組んで、「市の事業」として実施できればよいが、審査も含めて市内教職員でできるのはこの範囲であろう。○表彰式だけがクローズアップされやすいが、子どもの作品が（課題詩とともに）広く市民にアピールできるとよい。（ケーブルテレビでの朗読、新聞や広報への作品の活用）
------	---

番 号	6	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	各学校からの応募申請に基づき本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。小中一貫教育（中学校区ブロック研究）、コミュニティ・スクール、みすゞ教育（心の教育）、特別支援教育を視野に入れた研究課題を設定し、全ての領域において研究及び実践を推進し、その成果を本市小・中学校に広める。		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	1,600,000 円 (1,500,000 円)	1,600,000 円 (1,450,000 円)	1,400,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	平成 23 年度：1 ブロック 10 校を指定 (1) 小中一貫教育【仙崎ブロック】250 千円 (2) コミュニティ・スクール【俵山小、明倫小、俵山中、日置中】600 千円 (3) みすゞ教育【仙崎小、日置小、三隅中】300 千円 (4) 特別支援教育【深川小、油谷小、菱海中】300 千円 各ブロック及び指定校において、研究主題を掲げた計画的実践が行われ、各学校の課題に応じた研修について取り組み、それぞれ成果を上げた。 取組についての成果還元方策として、指定校の成果物である研究集録を市内全学校に配付した。指定校によっては、公開研究会を開催し、市内外から多くの参加者に成果を普及する取組がみられた。		
課 題 と 今後の取組	全ての領域において研究が行われたが、指定校数が想定を下回ったため、予算額を下回る決算となった。学校の要望等を精査し予算額を設定する必要がある。		

〔事業名〕 就学指導委員会

外部評価	<p>○「与えられる指定」ではなく、「求める指定校」でありたい。</p> <p>○コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育を大前提とし、その中で心の教育や特別支援教育、キャリア教育をどう進めていくのか、各校、各ブロックが課題を持って取り組むようにしてはどうだろうか。</p>
------	---

番 号	7	主 管 課	学校教育課
事 業 名	就学指導委員会		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市就学指導委員会を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した15人以内の委員をもって組織し、年に3回実施する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度（当初）
	189,000 円 (104,080 円)	200,000 円 (131,220 円)	200,000 円
評 価 〔取組状況 及び成果等〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>本年度は、就学指導委員会を3回開催している。検討を要する児童生徒数が増加しているが、適正な就学に資するため専門的な立場から時間をかけて慎重な審議をしていただいている。</p> <p>《要検討児童生徒数》 平成22年度 44人 平成23年度 46人（第1回 5/27 1名） （第2回 11/17 30名） （第3回 1/19 15名）</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>今後も、一人ひとりの障害の種類や程度等に適した教育の場について慎重に審議するためには、教育学、医学、心理学等に関し学識経験者を有する者で委員会を組織し、現在の委員数15人を維持する必要がある。また、要検討児童生徒数の増加及びきめ細かな就学指導をするためにも、今後も委員会の開催は年3回以上必要である。</p>		

〔事業名〕 就学指導委員会

外部評価	<p>○評価できる。</p> <p>○適正就学を目指して、きめ細かな対応が行われている。保護者への親身な対応、幼・保・学校への適切な支援によって信頼関係を築いていくことをこれからも大切に。</p>
------	--

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、心に悩みを抱えている児童生徒や不登校の児童生徒が増加傾向にある。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員等が電話や来所、訪問による相談にできる限り対応するとともに、不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p> <p>。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	5,720,000 円 (5,508,512 円)	5,720,000 円 (5,406,227 円)	5,579,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は 766 件（電話対応も含む）で、通室児童生徒の支援や保護者・教職員の相談対応にニーズ及び信頼が増していることがうかがえる。</p> <p>不登校児童生徒 平成 22 年度 小学校 5 人、中学校 21 人 平成 23 年度 小学校 1 人、中学校 27 人 平成 22 年度 相談対応児童生徒 34 件、保護者 121 件、 教職員 229 件、通室 64 件 平成 23 年度 相談対応児童生徒 19 件、保護者 83 件、 教職員 219 件、通室 410 件 その他（関係機関等） 35 件</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>来所する生徒の支援に追われているのが実情である。学校と家庭・関係機関との連携を一層図っていくことが課題である。</p> <p>センターに関する情報のHPへの掲載は、すでに行っている。</p>		

〔事業名〕 教育支援センター事業

外部評価	<p>○来所生徒の支援に追われる実態は、どうにかならないか。</p> <p>○相談を待つ姿勢ではなく、相談をする側が相談しやすい体制、方法を工夫するとよいと思う。</p> <p>○相談や通室により改善がみられるケースが増えてきたことは評価でき、センターの存在は大きい。様々なケースがあると思うが、関係機関や学校を連携した取組に期待したい。</p> <p>○この事業は、教育においても大切な事業だと思う。予算額が少なくなるのはどうなのか。</p>
------	--

番 号	9	主 管 課	学校教育課
事 業 名	学力向上対策事業		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	市内統一の学力・学習状況調査を国語と算数・数学で実施し、結果の分析・検証を行うとともに、これまでの学力向上対策委員会や専門部会での成果を生かしながら、抜本的・総合的な学力向上を具体化する。そのことにより、国や県と同程度以上の学力を保障する。		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	1,337,000 円 (1,293,996 円)	1,204,000 円 (1,128,787 円)	0
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>小学校 4・5 年生、中学校 1・2 年生の市内統一の学力・学習状況調査結果と全国学力・学習状況調査結果の経年比較によって、各校の学力向上の取組における成果と課題が明確化された。</p> <p>より一層の学力の向上を目指し、国語科と算数・数学科の小・中一貫カリキュラムを作成した。</p> <p>市学力・学習状況調査 [国語・算数 (数学)・生活調査] (小 4 月 20 日・中 5 月 12 日実施)</p> <p>【平成 22 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4 年生 261 人 5 年生 337 人 ・中学校 1 年生 277 人 2 年生 323 人 <p>【平成 23 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4 年生 256 人 5 年生 262 人 ・中学校 1 年生 302 人 2 年生 291 人 		
課 題 と 今後の取組	これまでの学力調査の結果から、市内の児童・生徒の課題や各中学校区ブロックの児童・生徒の課題を明確にし、課題解決に向けた組織的な取組ができるよう、平成 24 年度からの新規事業「確かな学力育成サポート事業」により、指導についてより一層の充実が図れるようにする。学力調査については、やまぐち学習支援プログラム評価問題が充実してきたことから、これを活用して各学校の課題を明らかにしていく。		

〔事業名〕 学力向上対策事業

外部評価	<p>○学力向上は結構なことだが、「学校の序列化」にならないことを望む。</p> <p>○「やまぐち学習支援プログラム」の活用を推進し、実態把握から学力向上の具体策に向かう取組へと進化したことは大いに評価できる。</p>
------	--

番 号	10	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題に係る教育相談		
施 策 名	教育内容の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>深刻化しているいじめ問題や不登校問題等の解決に向け、あらゆる諸機関で解決に向けて努力しているが、本市においても、いじめ問題や不登校問題は後を絶たない現状がある。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置して、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたり、各事例の改善を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	739,000 円 (720,000 円)	739,000 円 (721,780 円)	800,000 円
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が、子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒及び保護者の心の安定が図られた事例も多い。特に、発達障害にかかる不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。</p> <p>以下に示す相談対応件数以外にも電話での相談や問い合わせが多い中、長門市教育支援センターとの連携を図り、的確な助言により、学校の組織的な対応に貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数 70 件 (平成 22 年度 67 回) ・学校訪問相談 12 回 (平成 22 年度 11 回) ・教育支援センター会議 8 回 (平成 22 年度 7 回) 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>近年、人間関係づくりに困難が見られる児童生徒が増え、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要す事案が増加傾向にある。継続的に個別対応の必要な児童生徒・保護者のニーズは増加傾向にあり、今後も教育相談員（臨床心理士）の配置がぜひ必要と考える。</p>		

〔事業名〕 いじめ問題に係る教育相談

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○支援センター事業同様、何でも相談できる環境づくりを望む。○いじめ問題、不登校問題が増加傾向にある中、教育相談員が1名でいいのか。○専門的な知見からの助言や対応で、継続した支援が受けられる本事業の意義は大きい。学校、支援センター、保護者を連携してこそ効果を上げることができ、三者をつなぐ存在としてぜひ充実させたい。○この事業は保護者、教職員、また他の県、市のいじめ問題をリサーチして事業を拡大してほしい。
------	---

番 号	1 1	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校給食センター運営管理事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>平成 22 年 9 月に、完全ドライ方式、2,400 食/日の調理能力を有する新たな学校給食センターを整備した。</p> <p>長門市学校給食運営方針に基づき、学校給食の衛生管理の向上と高質で安全・安心な給食の提供を図るとともに、将来的な本市の学校給食施設の 1 センター化の検討等を行う。</p> <p>【施設】 長門市学校給食センター (2,400 食/日) 対象：14 校 ※配送業務直営 日置学校給食センター (400 食/日) 対象：2 校 深川中学校調理場 (600 食/日) 対象：自校</p> <p>【会議等】 学校給食運営委員会 (2 回)、献立作成委員会 (11 回)、物資選定委員会 (2 回)、地元食材供給連絡会議 (1 回) を開催</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	424,091,000 円 (581,443,016 円) 参考：新センター整備費	207,578,000 円 (156,606,681 円)	210,171,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【23 年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食数 長門市学校給食センター 2,120 食 日置学校給食センター 320 食 深川中学校調理場 380 食 ・平均給食日数 188 日 ・給食費 小学校 245 円、中学校 280 円 ・日置学校給食センター運営委員会を新設 ・事業目標 <ul style="list-style-type: none"> ア 食物アレルギーへの対応 ※除去食から代替食へ 14 人→22 人 イ 食に関する指導目標の推進 センター 2 名の栄養教諭で 14 校担当 ウ 地産地消の推進 人参、ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツの 4 品 総使用量 33,168kg のうち 10,561kg を市内生産者から納入 エ 施設見学会、試食会の開催 見学会 家庭教育学級 4 校 試食会 10 件 128 人 		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>児童生徒の減少等に伴い、1 センター化に向けて課題分析と検討を段階的に進めていく。</p> <p>また、地産地消への取り組みを更に活性化させ、より安心安全で高質安価な学校給食を提供するために、長門市学校給食センターを中心に、運営体系の見直し・工夫・改善に取り組むこととしている。</p>		

〔事業名〕 学校給食センター運営管理事業

外部評価	<p>○食物アレルギーの対応や地産地消の推進は評価できるが、より一層の努力を願う。</p> <p>○事故なく運営されていることに関係者の安全への地道な努力がうかがえる。さらに、「ながと食の日」や「給食記念日」などの取組を計画的に実施し、生産者や調理員と子どもとの交流を、ぜひ広げていってほしい。「食」を通じた心の教育に期待している。</p>
------	--

番 号	1 2	主 管 課	教育総務課
事 業 名	深川小学校改築事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>深川小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年が経過し、建物の随所が著しく老朽化している。また、耐力度も低下し、耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の構築を図る。</p> <p>【施設概要】 建設位置：東深川 2688 番地 1 外（藤中区） 建物構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建 敷地面積：15,903 m² 建築面積：校舎棟 3,843 m²／屋内運動場 1,244 m² 延床面積：校舎棟 6,382 m²（1 階 3,321 m²／2 階 3,061 m²） 屋内運動場 1,466 m²</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	920,488,000 円 (785,332,750 円)	1,817,436,000 円 (1,477,254,961 円)	202,656,000 円 ※H23 年度繰越予算
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 22 年 8 月から校舎棟と屋内運動場の建設工事に着手し、23 年 9 月末に完成、10 月 3 日に「授業始め式」を行い一部使用を開始した。</p> <p>その後、平成 24 年 4 月の全面供用開始を目指し、旧校舎の解体、プールの改修、グラウンド整備工事等に順次着手してきたところではあるが、解体工事においては、近隣対策やアスベスト調査、既存杭の撤去工事に予想以上の時間を要し、加えて児童クラブ建築や市道改修等周辺環境整備に係る工事等、多種にわたる工事が集中することから、全体的な工期の見直しと再調整を図る必要が生じ、工事の一部を 24 年度に繰り越し行うこととなった。</p>		

	<p>【主な 23 年度完了工事等】</p> <table border="0"> <tr><td>校舎棟建築工事（第 1 工区）</td><td>557,277,000 円</td></tr> <tr><td>校舎棟建築工事（第 2 工区）</td><td>233,034,900 円</td></tr> <tr><td>校舎棟電気設備工事</td><td>124,736,850 円</td></tr> <tr><td>校舎棟給排水衛生設備工事</td><td>60,534,450 円</td></tr> <tr><td>校舎棟空調設備工事</td><td>45,336,300 円</td></tr> <tr><td>屋内運動場棟建築工事</td><td>195,278,400 円</td></tr> <tr><td>屋内運動場棟電気設備工事</td><td>13,247,550 円</td></tr> <tr><td>屋内運動場棟機械設備工事</td><td>6,694,500 円</td></tr> <tr><td>改築工事監理業務</td><td>16,928,700 円</td></tr> <tr><td>必要物品整備（消耗品関係）</td><td>2,158,487 円</td></tr> <tr><td>手数料（引っ越し、廃棄物運搬等）</td><td>2,452,258 円</td></tr> <tr><td>学校備品、遊具等整備</td><td>19,788,897 円</td></tr> <tr><td>既存施設解体工事</td><td>66,305,400 円</td></tr> </table> <p>【23 年度発注～24 年度繰越工事等】</p> <table border="0"> <tr><td>プール改修・改築工事</td><td>29,800,000 円</td></tr> <tr><td>グラウンド・プール等機械設備工事</td><td>8,800,000 円</td></tr> <tr><td>グラウンド・プール等電気設備工事</td><td>3,100,000 円</td></tr> <tr><td>体育倉庫建築工事</td><td>6,900,000 円</td></tr> <tr><td>グラウンド整備工事（第 1、第 2 工区）</td><td>47,000,000 円</td></tr> <tr><td>グラウンド舗装工事（第 1、第 2 工区）</td><td>17,400,000 円</td></tr> <tr><td>グラウンド修景工事</td><td>3,300,000 円</td></tr> <tr><td>工事監理業務</td><td>4,536,000 円</td></tr> </table>	校舎棟建築工事（第 1 工区）	557,277,000 円	校舎棟建築工事（第 2 工区）	233,034,900 円	校舎棟電気設備工事	124,736,850 円	校舎棟給排水衛生設備工事	60,534,450 円	校舎棟空調設備工事	45,336,300 円	屋内運動場棟建築工事	195,278,400 円	屋内運動場棟電気設備工事	13,247,550 円	屋内運動場棟機械設備工事	6,694,500 円	改築工事監理業務	16,928,700 円	必要物品整備（消耗品関係）	2,158,487 円	手数料（引っ越し、廃棄物運搬等）	2,452,258 円	学校備品、遊具等整備	19,788,897 円	既存施設解体工事	66,305,400 円	プール改修・改築工事	29,800,000 円	グラウンド・プール等機械設備工事	8,800,000 円	グラウンド・プール等電気設備工事	3,100,000 円	体育倉庫建築工事	6,900,000 円	グラウンド整備工事（第 1、第 2 工区）	47,000,000 円	グラウンド舗装工事（第 1、第 2 工区）	17,400,000 円	グラウンド修景工事	3,300,000 円	工事監理業務	4,536,000 円
校舎棟建築工事（第 1 工区）	557,277,000 円																																										
校舎棟建築工事（第 2 工区）	233,034,900 円																																										
校舎棟電気設備工事	124,736,850 円																																										
校舎棟給排水衛生設備工事	60,534,450 円																																										
校舎棟空調設備工事	45,336,300 円																																										
屋内運動場棟建築工事	195,278,400 円																																										
屋内運動場棟電気設備工事	13,247,550 円																																										
屋内運動場棟機械設備工事	6,694,500 円																																										
改築工事監理業務	16,928,700 円																																										
必要物品整備（消耗品関係）	2,158,487 円																																										
手数料（引っ越し、廃棄物運搬等）	2,452,258 円																																										
学校備品、遊具等整備	19,788,897 円																																										
既存施設解体工事	66,305,400 円																																										
プール改修・改築工事	29,800,000 円																																										
グラウンド・プール等機械設備工事	8,800,000 円																																										
グラウンド・プール等電気設備工事	3,100,000 円																																										
体育倉庫建築工事	6,900,000 円																																										
グラウンド整備工事（第 1、第 2 工区）	47,000,000 円																																										
グラウンド舗装工事（第 1、第 2 工区）	17,400,000 円																																										
グラウンド修景工事	3,300,000 円																																										
工事監理業務	4,536,000 円																																										
<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>児童の安全・安心な学校生活を確保することはもとより、授業の進捗や主要な学校行事に支障を生じさせることがないように、プールの使用開始を平成 24 年 7 月に間に合わせる等、現場と工程の調整に努めている。</p> <p>また、平成 24 年度には、深川小学校の創立記念日である 10 月 17 日に合わせて、深川小学校改築事業、市道改修や児童クラブ等周辺環境整備工事を含めた全ての事業の完了に係るセレモニーを開催することとしている。</p>																																										

〔事業名〕 深川小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○工事の繰越は仕方ないだろうが、児童の学校生活に悪影響が出ないよう配慮してほしい。</p> <p>○学習環境が着々と整ってきている。事業完了セレモニーでは、この事業にたずさわった、たくさんの人々の思いを子どもたちに伝えてほしい。</p> <p>○深川小学校改築検討委員会での竣工見学会が開催されなかったのは、残念でだった。ぜひ、油谷小では開催してほしい。</p>
----------------	--

番 号	1 3	主 管 課	教育総務課
事 業 名	油谷小学校改築事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>油谷小学校の校舎及び屋内運動場は、築後 50 年近くが経過し建物の随所が著しく老朽化している。耐力度も低下し耐震基準を満たしていないため、全面改築を行い、安全・安心な学習環境の構築を図る。</p> <p>【計画概要】</p> <p>児童数：130 人 学級数：普通 6 学級（6 学年×1 学級）／ 特別支援 2 学級 面積：校舎棟（2 階建） 3,308 m² 屋内運動場 894 m² 事業費：約 13 億円</p> <p>平成 23 年度は、基本設計を完了する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	1,051,000 円 (42,000 円)	19,096,000 円 (7,746,160 円)	44,904,000 円 ※別途 23 年度繰越予算 11,260,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 19 年度から、学校関係者、P T A 代表、地域住民代表等で組織する改築検討委員会を設置し意見交換等を行ってきた。</p> <p>平成 23 年度については、事業計画に沿い平成 25 年度の工事着手に向けて、下記の取り組みを行った。</p> <p>校舎・屋内運動場耐力度調査等業務委託（別事業予算 5,985 千円） 建設用地地形測量業務委託（2,835 千円） 基本設計及び実施設計業務委託（4,700 千円） 設計者 日本設計・山根建築設計共同企業体、契約額 51,450 千円 改築検討委員会（2 回）、学校づくりワークショップ（1 回）、 設計協議（8 回）</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>設計者については、地元業者を中心とし、特色ある学校づくり、課題解決等が可能な者とするため、公募型プロポーザルを実施し決定した。 当初、平成 23 年度に基本設計（15,960 千円）完了、24 年度に実施設計（35,490 千円）着手～完了の予定であったが、「基本設計を進めるにあたり、ワークショップ等を開催し、幅広く多くの方の意見を聞き、設計に反映させ充実したものになりたい」という設計者の強い意向を重視し、一部予算（11,260 千円）を 24 年度に繰り越し、基本設計の完了を平成 24 年 6 月末までに延長した。 平成 25 年度から工事に着手し、平成 26 年度末の完成を目指す。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 油谷小学校改築事業

<p>外 部 評 価</p>	<p>○深川小学校改築工事を参考に、予算の有効活用を願う。 ○広く意見を求めながら計画的に進められている。教室細部の設えについては、教職員の意見も十分反映されるとよい。</p>
----------------	--

番 号	1 4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校施設耐震補強事業		
施 策 名	教育環境の整備・充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	平成 19 年 3 月に策定した長門市学校施設整備計画（学校施設耐震化推進計画）に基づき、耐震性の低い校舎・屋内運動場の耐震補強工事を行い、安全かつ安心な学習環境の構築を図る。		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	445,846,500 円 [繰越 445,846,500 円]	68,512,000 円 ※22 年度繰越予算 (53,431,770 円)	172,353,000 円 ※23 年度繰越予算
評 価 〔 取 組 状 況 及び成果等 〕	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>大規模地震により倒壊の危険性が高い Is 値¹⁾=構造耐震指標 0.3 未満の学校施設を優先して事業を実施。</p> <p>【平成 23 年度事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菱海中学校校舎耐震診断・耐震補強計画策定業務（H22 年度から繰越）5,677,350 円 ・ 向陽小学校校舎耐震診断・耐震補強計画策定業務（〃）4,920,300 円 ・ 向津具中学校屋内運動場耐震診断・耐震補強計画策定業務（〃）4,047,120 円 ・ 仙崎中学校特別教室棟耐震補強工事（〃）33,600,000 円 ・ 仙崎中学校特別教室棟耐震補強工事監理業務委託（〃）1,512,000 円 ・ 向陽小学校屋内運動場耐震補強工事実施設計業務（〃）3,675,000 円 <p>【平成 24 年度へ全部繰越・・・平成 23 年度予算へ前倒し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 向陽小学校 屋内運動場耐震補強工事 屋内運動場耐震補強工事監理業務委託 ・ 向津具小学校移転改修事業 校舎改修工事 屋内運動場耐震補強工事 実施設計、工事管理業務委託 学校備品、屋外遊具整備他 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校施設耐震化推進計画を前倒しし、Is 値 0.3 未満の施設を優先して、耐震化への取り組みを進めているところである。</p> <p>本市における公立小中学校の耐震化率は、平成 23 年度当初が 56.6%、24 年度 70.6%、25 年度 77.6%（見込み）となっている。</p> <p>今後についても、国の緊急的財政措置への対応も視野に入れ、引き続き Is 値 0.7 未満の学校施設も含め計画的かつ年次的な取り組みを行い、耐震化の早期完了を目指す。</p> <p>また、「長門市立小中学校適正配置方針」との調整を図る中で、計画の見直し等についても検討する。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 学校施設耐震補強事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全、安心、安価で。 ○大きな予算が必要であるが、優先順位をつけて、計画的に安全な学習環境の確保に努めてほしい。 ○安全最優先に、教育環境を整えていただきたい。
----------------	---

- 1) Is 値（構造耐震指標）とは、耐震診断により建物の耐震性能を示す指標で、Is 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では 0.7 以上に補強するように求めています。Is 値 0.3 未満は大規模な地震（一般的に震度 6 強程度）により倒壊の可能性が高い建物とされています。

番 号	15	主 管 課	学校教育課
事 業 名	キャリア教育推進事業		
施 策 名	学校教育の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	平成17年度に、各中学校のキャリア教育担当者と地域の事業所代表により立ち上げた「長門市キャリア教育実践協議会」を年2回開催し、本市のキャリア教育の充実を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	28,000円 (17,760円)	22,000円 (22,120円)	21,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実践協議会を2回実施した。各実践協議会で、各学校がキャリア教育に係る実践の報告をした。特に第2回協議会では課題としてあげられていた「キャリア教育＝職場体験」のみにならないようにするために、先進的な取組をしている美祢市から講師を招聘し、教育活動全体で取り組む実践例を知ることができたのは有意義であった。</p> <p>《実践協議会参加者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所代表者 2名 ・市内小・中学校キャリア教育担当者 18名 <p>《協議内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のつながりのある全体計画作成について ・小・中・地域連携によるキャリア教育の推進 		
課 題 と 今 後 の 取 組	キャリア教育の視点から、小中連携を推進することが課題である。		

〔事業名〕 キャリア教育推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○努力は評価できる部分もあるが、「小中連携の推進」が見えてこない。○何を目的にしているのか、よく分からない。○小中地域連携によるキャリア教育が推進できるとよい。校内担当者だけの意識改革に終わらないよう、小中一環に係る研究（みすゞ学園）の1つの柱として取り上げ、支援していけるようになるとよい。
------	--

番 号	1 6	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座		
施 策 名	教員・指導者の資質の向上		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	「生きる力」「心の教育」「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている今日、各界で活躍されている先達の生き方や考え方、実践などに直接ふれる機会をもつ。夏季休業中に、講師を招聘して4つないし5つの研修講座を設け、教職員の研修の場とする。		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	137,000 円 (67,992 円)	87,000 円 (39,677 円)	150,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	1.5 日間の講座選択という日程で設定した。教職員のアンケート結果では、実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。 ・「コミュニティ・スクールの実践」 講師 野口政吾 山口大学教育学部附属山口小学校副校長 76名参加 ・「みずぐさんのうれしいまなざし」 講師 矢崎 節夫 金子みずぐ記念館館長 75名参加 ・「東日本大震災被災地における救援活動の様子」 講師 長門市の保健師・救急救命士・水道課職員 88名参加 ・「気になる子どものとらえ方とかかわり方校内・保護者・他機関とのつながりを大切に」講師 石橋 剛 93名参加		
課 題 と 今 後 の 取 組	本市学校教育の目指す姿や、教育の今日的課題に関連した講座内容にしていく。教職員が興味をもって参加できる講座の内容とする。		

〔事業名〕 夏季教育研修講座

外部評価	<p>○評価できる。</p> <p>○予算アップを有効に活用してほしい。</p> <p>○努力目標「教育内容の充実」に係る3つの重点目標に沿った講座の開設は、教職員の課題意識、協働意識の高揚に大きく寄与している。予算を増やしても充実したものになるとよい。</p>
------	---

番 号	17	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市教育研究大会		
施 策 名	教員・指導者の資質の向上		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要	市内全小中学校教職員が研究交流するとともに、「開かれた学校づくり」「生涯学習のまちづくり」の観点から保護者や市民にも公開する研究大会を開催する。具体的には、個別課題による研究物の展示、各中学校ブロック（仙崎、深川、俵山、三隅、日置、菱海、向津具）における取組の発表とともに、本市が抱える教育課題に応じた講演を実施する。		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	449,000 円 (259,003 円)	369,000 円 (303,815 円)	359,000 円
評 価 （ 取 組 状 況 及び成果等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内全小中学校教職員が研究交流する場として本大会が開催されており、長門市の学校教育の方向性を教職員全員で再確認できた点で高く評価できる。また、小中連携推進をはじめとした長門市教育の充実・発展に資するブロック発表や、市民に開放された講演等、「共創・共育」の発想で学校づくり、まちづくりを推進していく上で有効性は高い。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内各小中学校から出品展示作品 53 作品 ・ ブロック発表 深川中学校ブロック（深川中学校） 菱海中学校ブロック（菱海中学校） ・ 講演「みんなで創ろう！『日本で「一番いい」学校』」 ・ 講師 慶応大学教授 金子郁容氏 参加者約300名 		
課 題 と 今 後 の 取 組	市として、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」の理念の共有、一応の形態としての定着がなされた今の状況を踏まえ、各みすゞ学園ごとの9年間を見通したカリキュラムの作成等を促進する。		

〔事業名〕 長門市教育研究大会

外部評価	○長門市の目指す教育を再確認し、課題を共有する場となっている。全小中学校がコミュニティスクールになったことから、各学校から、学校運営協議会委員、学校支援ボランティアにも案内をするなど、地域ぐるみの教育の推進にも寄与する大会になるとよい。
------	--

番 号	18	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校統廃合事業		
施 策 名	学校運営の効率化		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の固定化、部活動や学校行事等における多様な選択の制限等、教育環境として支障が生じることが想定されることから、平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境が提供できる一定の学校規模の確保を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	1,708,000円 (1,671,116円)	210,000円 (210,000円)	0円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>【23年度実績】 ユニホーム等の買い替えに係る補助 ※前年度統廃合 旧通中学校、生徒11名分 210,000円</p> <p>方針に「統廃合する学校」としてある俵山中学校については、地元との協議もなく進展がない。</p>		

<p>課 題 と 今後の取組</p>	<p>「小中学校適正配置方針」においては、今後統廃合する学校として俵山中学校、統廃合の対象とする学校として小学校 3 校を位置づけているが、小学校 3 校については、当面統廃合しないこととしている。</p> <p>俵山中学校については、平成 26 年度以降、全校生徒数が統廃合の基準としている 25 人未満となる見込みであり、その状況が 3 年以上継続すると見込まれることから、平成 26 年 4 月を統廃合の目安としているところである。平成 24 年度から、保護者や地域の皆様の意見を聴き、子どもたちにとって最善の教育環境を提供できるよう協議を深め、一定の結論が出るよう努める。</p> <p>また、廃校となった学校施設についても、関係部署や地域団体等との連携・調整の下、有効活用を図る。</p>
------------------------	---

〔事業名〕 学校統廃合事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校校舎の有効活用（地域文化の拠点）を願う。 ○適正配置基準、施設の耐震化、地域の特性など考慮する点が多いと思うが、話し合いを進めていく中で、方向性も見えてくるのではないか。 ○廃校となった学校施設利用は、その地域の住民にとっては必要である。利用しやすい環境整備を。
----------------	--

番 号	19	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	市として新成人のお祝いをする。 【期日】平成24年1月3日（火） 【会 場】ルネッサながと 【対象者】445人（H4.4.2～H5.4.1）・出席者352人 【内 容】式典、アトラクション、記念撮影、企業PRブース、 メッセージボード 【目 標】式典の流れの変化・ロビーの有効活用		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度（当初）
	982,000円 (885,864円)	1,133,000円 (955,952円)	1,191,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	実施後のアンケートは次のとおり（回答率67.3%） 式典について「とても良かった」27%、「良かった」52% アトラクションについて「とても良かった」39%、「良かった」44% ロビーの催しについて「とても良かった」26%、「良かった」49% 今回の成人式は、マンネリ化を防ぐために太鼓演奏がオープニングを飾り、ロビーで企業PRブースやメッセージボードを設置、記念品にふるさとテキストを採用するなど、いろいろな工夫をしてみたところ、75%の新成人から好評を得た。		
課 題 と 今後の取組	太鼓演奏をオープニングで行い式典時間を短縮したことで、式典自体に物足りなさを感じた方が多かった。次回は式典の充実を図り、来賓のあいさつや、サプライズ的なステージを検討してみたい。 また、別企画でJR美祢線利用促進事業とタイアップし、成人式オプションルツアーを実施した。時間の設定に関して根回しが悪く、参加者の確保に苦心したので、早めに動く必要がある。		

〔事業名〕 成人式開催事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○工夫と努力は認められるが、「誰のための成人式か」原点に戻ることに。時代と、成人対象者のニーズをしっかりとふまえた内容に。○厳かな雰囲気を大事にしながら様々な工夫がなされていて、新成人の評価も高い。新成人企画部分も検討しながら、長門市らしい成人式ができるとうい。○成人式の事業計画段階から新成人を入れ、ただお膳立てされた成人式に参加するのではなく、新成人たちが何を望んでいるのか計画段階から代表者を入れるべき。○新成人自身が企画する部分を、、、。○市として新成人のお祝いをする式典を除いて、他の部分の企画の段階で新成人に参加してもらいたいと思う。事業の形は、柔軟に考えるのも、、、と思う。
------	--

番 号	20	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	公民館指定管理事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	地域住民に公民館の管理・運営を委託する。 【管理団体】 俵山地区発展促進協議会 【委託期間】 H20. 10. 1～H24. 3. 31 【目 標】 地域課題解決の拠点としての役割 地域協育ネットの推進		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	11,983,000円 (11,316,850円)	11,688,000円 (11,511,229円)	10,438,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	公民館利用数は、指定管理後に飛躍的に増加。H23年度も5千人台をキープし、学習拠点としての役割やNPO法人ゆうゆうグリーンと連携した地域づくり事業により、地域課題解決の拠点としての役割を存分に担っている。 また、従来の学校と地域の連携事業を整理し、公民館型の地域協育ネットへ移行し、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まった。		
課題と 今後の取組	NPO法人ゆうゆうグリーンと地域づくり事業に取り組む中で「学習と実践」の住み分けが必要。 平成24年度から、放課後子ども教室事業を委託事業とし、指定管理の契約内容から切り離す。		

〔事業名〕 公民館指定管理事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○俵山公民館の成果は認められる。○他の公民館の動向も参考資料として欲しい。○地域のよさを生かした指定管理による公民館の運営によいモデルができた。目指しつつも急がず、機が熟すのを待ちたい。
------	---

番 号	2 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	図書館の充実		
施 策 名	生涯学習・スポーツ活動の推進体制の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	資料の充実を図るとともに、幅広い層に利用していただけるよう各種事業を展開し、利用を促進する。 ・図書等資料の充実 ・子どもの読書活動推進 ・音楽、映画、講演会、等の各種事業の実施		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	8,530,000 円 (9,117,137)	8,426,000 円 (8,410,301)	8,293,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	○図書等資料の収集は、司書の選書とともに、利用者のリクエストに応じた資料の収集・他館から借受けするなどを積極的に行った。 ・貸出数 227,226 点 (全館計) ○読み聞かせボランティア派遣は、小学生以下の対象者が減少するなか、高齢者の需要が増えている。また、年齢にあった絵本を保護者が選べるよう、検診時に絵本リストを配布した。 ・読みきかせ派遣 19 か所、派遣人員 延 289 人、参加数 4,209 人 ○関心が薄い市民の利用増と、いつも利用している市民に対し、より良いサービスを提供するため、映画や音楽会などを開催し、利用の促進を図った。 ・図書館コンサート 3 回 ・映画上映 9 作品 ・音楽鑑賞会 5 回 ・講演会 2 回 ・図書館まつり 1 回 ・展示 (主催・共催) 5 回 ☆これらの取り組みにより、入館者は 1.7%減少 (前年度は-3.5%) したものの、貸出数は平成 19 年度をピークに減少傾向にある中、わずか 0.28%であるが増加した。		
課 題 と 今後の取組	人口の減少に伴う利用人数の低下は避けられないが、これまで図書館を利用してない人たちへの利用促進を図ることで、若干の歯止めは期待できる。そのために、図書等資料の充実や各種事業を実施するとともに、利用ニーズの変化に対応する図書館空間整備を図っていく。また、新聞・ラジオ・CATV 等での告知や広報に、これまで以上に積極的に取り組み、図書館への関心度を高める。		

〔事業名〕 図書館の充実

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「図書館」の何を、どこをどのように充実させたいのか。「事業名」とともに事業内容の中に表現したほうがよいのでは。○温かい雰囲気の中で利用促進に向けて様々な工夫がなされている。子どもの読書活動推進には、小学校との連携、情報交換も有意である。
------	--

番 号	2 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	家庭教育支援事業		
施 策 名	地域・家庭教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>家庭教育振興のため、乳幼児期の学習援助及び相談事業を実施し、さらに市内小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設する。</p> <p>【目 標】学級運営に役立つ研修会や意見交換会の実施 保育園・幼稚園への拡大</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	531,000円 (470,520円)	435,000円 (434,600円)	615,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各家庭教育学級では学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。実施額が下回っているのは、公立保育園において学級開設がなかったことによる。</p> <p>意見交換会や合同研修会など学級役員の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が高まり、高い成果が得られた。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>毎年、交付申請一連の手続きに学校の家庭教育担当者が苦慮されており、できるだけわかりやすい申請書や指導に努めていく。</p> <p>また、質の高い学級運営をしていただくために、学級間の意見交換会や合同研修会で日頃の悩みや問題を共有し、解決への指導・助言を行っていく。さらに、必要に応じて個別指導や学級が運営する行事に家庭教育担当の社会教育指導員が積極的に参加し、学級(学校)との良好な関係を築く。</p>		

〔事業名〕 家庭教育支援事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「家庭教育学級」だけの説明、評価になっていないか。○公立で、なぜ開設されないのか、不信感をあおる。○「参加しやすい学級」と「質の高い学級」が常に課題になると思うが、家庭教育に係る保護者の学びの場ととらえ、学校と連携しながらリードするとともに、保護者の自主運営を支援し続けてほしい。○中学校区内の合同会議を実施し、その場に指導員を派遣する。
------	---

番 号	23	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	学校体育施設開放事業		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	地域住民のスポーツ活動の場として学校体育施設を開放し、生涯スポーツの振興を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	317,000円 (173,000円)	317,000円 (112,234円)	317,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	地域住民が気軽にスポーツに親しむため、市内の全小・中学校体育施設を開放しており、事業としての必要性は高い。 学校等と協議し、修繕の取扱いや計画的なワックスがけを行うなどし、経費の節減に努めた。 <決算内訳> 鍵管理謝金(向陽)年24,000円 消耗品(ワックス・モップ等)88,234円		
課題と 今後の取組	今後も、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場として、学校体育施設開放事業を継続していく。 廃校となった施設や24年度工事完了となる深川小学校施設についても、随時開放していくなど、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場としていく。		

〔事業名〕 学校体育施設開放事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○経費の節減は結構。○スポーツの内容は、地域住民のニーズに合っているのか。実態調査も必要。○廃校になった施設も含めて、積極的に活用したい。管理に当たっては、学校と協議をしたり、連絡体制を整えたりすることが重要である。
------	--

番 号	24	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	各種スポーツ教室を開催し、市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	638,000円 (636,800円)	598,000円 (336,000円)	581,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学びスポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成23年度からは誰もが参加できるチャレンジ・ザ・ゲームに取り組むため、スポーツ推進委員会を中心に講習会等へ参加し、各種イベントへ出向き、競技普及の活動を行なった。 平成23年度 ミニテニス大会 1回 チャレンジ・ザ・ゲーム 6回		
課 題 と 今後の取組	今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、チャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。 平成24年度は、イベントを開催し参加者を待つ体制から各種スポーツ団体の活動場所へ出向いていく体制で競技の普及を図っていく。		

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「待つ」体制から、「出向く」体制は評価できる。○誰もが取り組みやすい内容をスポーツ推進委員が出向いて指導する体制に期待する。スポーツ団体以外でも要請が増え、スポーツ人口の裾野が広がるとよい。○健康増進課との違いが見えない。健康目的なら教育委員会だけではなく共催の形をとったほうがよい。
------	---

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課											
事 業 名	長門市体育協会補助金													
施 策 名	スポーツの推進と参加促進													
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了													
事業の概要 及び目標	各種スポーツ大会の開催、加盟団体の育成強化等の活動を行っている社会体育団体を支援することにより生涯スポーツ活動の促進を図る。													
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)											
	12,524,000円 (12,240,023円)	12,524,000円 (12,253,911円)	12,524,000円											
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る													
	<p>長門市体育協会は市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。</p> <p><決算内訳></p> <table border="0"> <tr> <td>事務局人件費</td> <td>8,118,594円</td> <td>大会参加負担金等の歳入</td> <td>839,500円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,601,232円</td> <td>差引き</td> <td>12,253,911円を補助</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,373,585円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			事務局人件費	8,118,594円	大会参加負担金等の歳入	839,500円	事務費	1,601,232円	差引き	12,253,911円を補助	事業費	3,373,585円	
事務局人件費	8,118,594円	大会参加負担金等の歳入	839,500円											
事務費	1,601,232円	差引き	12,253,911円を補助											
事業費	3,373,585円													
課 題 と 今後の取組	今後も、市民の参加できるスポーツ大会を開催し、また、加盟団体の育成強化等を行うため、事業を継続していく。													

〔事業名〕 長門市体育協会補助金

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「生涯スポーツ活動の促進」は結構。○自主運営とはいいいながら、事務局人件費の高額に疑問を感じる。受益者負担率を上げられないか。○市民スポーツの振興、スポーツ団体の育成は今後も必要であるが、大きな予算を伴う。常に点検をしながら進めていくことが大切。
------	--

番 号	26	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	総合型地域スポーツクラブ育成（コミュニティスポーツクラブ育成）		
施 策 名	スポーツの推進と参加促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>地域の子どもからお年寄りまでが気軽にスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの育成を図る。（自主運営の環境整備支援）</p>		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度（当初）
	0 円	0 円	0 円
評 価 （ 取 組 状 況 及び成果等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>総合型地域スポーツクラブとしてスポーツ振興くじの助成事業等を活用されているため市の予算措置は無いが、スポーツ推進委員等をアドバイザーとして派遣するなどし、平成 23 年度、新たに俵山スポーツクラブといがみ倶楽部を設立した。</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>引き続きクラブマネジャーの養成等を行い、地域総合型スポーツクラブ設立へ向けた地域の活動等を側面的に支援していく。</p>		

〔事業名〕 総合型地域スポーツクラブ育成（コミュニティスポーツクラブ育成）

外部評価	○大畑に続いて新たに2つの地域スポーツクラブが誕生。さらに、地域の主体的な活動が広がっていくことに期待。
------	--

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	ニュースポーツ等指導者研修事業		
施 策 名	生涯学習・スポーツ指導者の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	誰でも気軽に親しめ、楽しめるニュースポーツ等の振興を図るため研修会等に参加し、指導者の育成を推進する。		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	52,000円 (52,000円)	52,000円 (26,000円)	52,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	指導者を育成することにより市民へのスポーツ振興を図っている。 平成23年度研修会等 クラブマネジャー養成講習会 3人 チャレンジザ講習会 7人		
課 題 と 今後の取組	今後も、研修会等の参加者確保に努め、指導者を育成することで市民へのスポーツ振興を図っていく。		

〔事業名〕 ニュースポーツ等指導者研修事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○育成された指導者は、具体的にどのような活動をされているか。○指導者としての人材確保が今後も課題になると思われるが、継続した取組みができるとよい。
------	--

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施 策 名	人材の発掘・活用		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務局的に補助する。行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p> <p>【目 標】山口国体への社会的参加</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	716,000円 (716,000円)	716,000円 (716,000円)	716,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>H23年度は、山口国体にダンスやボランティア等で積極的に参画され、婦人会の底力をアピールされた。現会員が元気で生き生きと活動される様子が地区にも活力を与えている。市の社会教育関係団体の顔として、生涯学習の推進に大きな貢献を果たされている。</p> <p>長門市連合婦人会補助金 716,000円 平成23年度会員数 627人(油谷364人、仙崎243人、俵山20人) 会員ひとりの年会費 油谷400円、仙崎500円、俵山1,000円</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>H24年度は県婦人会連合会が創立60周年を迎えるため、市婦人会としてもパネル展示などで協力される。</p> <p>婦人会組織が全地区にないこと、会員の高齢化が進んでいることは大きな課題であるが、生涯学習の推進により、健康寿命も高まっていることから、現会員が生き生きと社会に貢献される活動をこれからも支援していきたい。</p>		

〔事業名〕 婦人団体活動支援事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○組織の歴史と貢献度は評価できるが、これまでの外部評価の検討はされているのか。○現会員の生きがいを支える事業では、予算額からみても不平等、疑問を感じる。○組織を持たない地区にあっても、学習団体、社会奉仕団体として地域貢献している姿は多く見られる。地域の絆を深めるためにも、モデルとなる組織をもつ婦人団体の活用、支援に期待する。○婦人団体活動は、行政から切り離し、自主運営の方向に徐々に移行すべきだと思う。補助金ではなく、自主運営できない活動については、申請による助成金とした方がよいと思う。
------	--

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域協育ネット事業		
施 策 名	人材の発掘・活用		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>従来の人材バンク制度を平成24年度から地域協育ネット事業へ完全移行するために、人材バンクにかかる謝金制度は平成23年度をもって終了する。</p> <p>【目 標】地域協育ネット事業へのスムーズな移行</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	100,000円 (80,000円)	100,000円 (28,000円)	187,000円 ※新規事業へ移行
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成23年度</p> <p>▼人材バンク実績 登録者 個人92人、18団体 利用団体 2小学校、1中学校、1公民館関係 延べ15人 前年度の延べ12人よりは若干増えたが、限られた学校(日置地区)からの利用となっている。</p> <p>▼地域協育ネット実績 指定協力校区 俵山中学校区・菱海中学校区</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>人材バンクの謝金制度を廃止し、平成24年度からは、地域協育ネット事業へ移行する。新事業では、各公民館が地域人材を人材バンクに登録し、学スポ課が全体を集約する。従来の人材バンクで登録しているデータは、そのまま学スポ課分のデータに保管する。</p> <p>平成24年度は、協力指定校区として、深川中学校区を新規に追加し、中央公民館と深川小・深川中、向陽小とのつながり、あるいは関係機関同士の横の連携を図っていく。</p>		

〔事業名〕 地域協育ネット事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○「見直し」は大切でいいこと。○「関係機関同士の横の連携」とは。○地域教育ネットの構築により。公民館が学校と地域をつなぐコーディネーターとなることへの意義は大きい。地域人材が、子どもの学びを深めたり、広げたりすることへの期待も大きい。
------	---

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	放課後子ども教室推進事業		
施 策 名	青少年の健全育成の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	放課後の子どもの見守り、健全育成。 【対 象】 小学1年生～6年生 【実施校】 俵山小学校・神田小学校・向陽小学校 【目 標】 向陽小放課後子ども教室の新設		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	1,345,000円 (1,345,000円) ※神田	3,491,000円 (3,124,391円) ※神田・向陽	7,101,000円 ※俵山・神田・向陽・向津具
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内の小規模校を対象とした「放課後の子どもの居場所づくり」として進めている。 H23年4月に設置した向陽小放課後子ども教室は、H24.6.11現在44人(登録者数)/64人(全校生徒)となり、70%近くの児童が放課後の居場所として子ども教室を活用している。		
課題と 今後の取組	H24年4月に向津具小放課後子ども教室が立ち上がり、未実施校は1校(通小)となった。通地区内では、独自の放課後の居場所づくりとして「少年少女会」が復活したので、子ども教室としての要望は今のところない。 俵山小放課後子ども教室はH23年度までは、指定管理料の中に含めていたが、H24年度からは本事業に委託料として組み込むこととした。		

〔事業名〕 放課後子ども教室推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○拡大、推進は評価できる。○「放課後子ども教室」が「学校の延長」にならないことを望む。(目的を明確に)○運営についてそれぞれに課題も生まれてくると思われるが、基本的な方針について十分協議しながら推進していくとよい。○利用者負担があってもよいのでは。
------	---

番 号	3 1	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業		
施 策 名	青少年の健全育成の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>青少年健全育成団体への活動費補助及び活動の側面支援や事務局業務の支援を行う。基本的には各団体の自主的な運営に委ねているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については側面から支援する。</p> <p>【目 標】 補助金の効果的な活用</p>		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成24年度(当初)
	681,000円 (681,000円)	681,000円 (681,000円)	638,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については社会教育指導員を配置し、支援していることで、団体の健全な運営が確保できている。</p> <p>子ども会育成連絡協議会補助金 213,000円 青少年育成市民会議補助金 277,000円 小学校PTA連合会補助金 151,000円 ガールスカウト活動費補助金 40,000円</p>		
課題と 今後の取組	<p>「子ども110番」事業については、発端の取り組み方が異なっていたため、取りまとめ的な窓口の設置が切望されていた。H23年度において、青少年育成市民会議が統一的な取り組みを確認され、各支部が「子ども110番」のデータ収集(H23年度)やマップづくり(H24年度)に着手されている。</p> <p>H24年度から小学校PTA連合会と中学校PTA連合会が統合するため、小学校PTA連合会への助成は、「長門市PTA連合会」に移行する。</p>		

〔事業名〕 青少年健全育成団体支援事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○PTAの統合は結構なことである。更なる組織の見直しや統合が求められている時代ではないだろうか。○補助金や人的支援を受けてそれぞれの団体が活動している。活動の内容を十分に把握しながら、指導性を発揮していくことが大切。○長門市PTA連合会にも教育行政に関する情報提供の側面支援や事務局業務支援を、、、。
------	--

番 号	3 2	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施 策 名	人権教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。 H23.7 第1回人権教育セミナー 参加者 150人 H23.8 第2回人権教育セミナー 参加者 31人 H23.12 第3回人権教育セミナー 参加者 150人 【目 標】参加者に効果が期待できる3回のセミナー実施		
予 算 額 (決算額)	平成22年度	平成23年度	平成23年度(当初)
	273,000円 (207,311円)	391,000円 (381,650円)	391,000円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	各講座とも充実した内容であったが、第1回・第3回においては参加率が悪く(過半数程度)残念であった。原因としては、自発的な申し込みに頼ってしまい、口コミなどが行き渡らなかったことが考えられる。		
課 題 と 今後の取組	参加者の募集については、セミナーの内容により参加者の対象を絞り込み、確実な集客や効果を期待できるような取り組みを行いたい。また、人権教育推進委員会のみなさんにはっちゃんテレビに出演していただき、啓発したい。		

〔事業名〕 人権教育講座開設事業

外部評価	<p>○実施困難な事業の一つだが、必要な事業なので、工夫、努力をしつつ続けてほしい。</p> <p>○人権教育推進のために、地道な活動が継続して行われている。内容によって、職域団体や各公民館で実施されている「学級」と民生委員会等とのタイアップを模索していくとよいのでは。</p> <p>○セミナーは推進委員、教職員、行政職対象の勉強会のような印象を受ける。広く市民を対象とするのか、関係者だけの勉強会なのかははっきりしない。フェスティバルを市民公開のものとし、セミナーは関係者だけと対象者をしぼって開催する方が効果的と思う。</p> <p>○参加された方は、良い感想をもたれている。しかし、参加者が少ないのは残念である。各種団体、一度参加された方を使い、参加者を増やしてほしい。</p>
------	---

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○事業内容（対象者）があいまい。○みんなで知恵を出し合って、参加者を増やす努力をしよう。○良い講演内容が続いている。PTA組織や幼・保親の会、地域福祉団体、地区社協等とのタイアップ、市役所他部局との連携で充実させていくことができると期待している。○これまで参加する機会があり、内容のある事業と思う。もっと多くの市民への参加呼びかけがあれば。送迎も用意されているが、利用が少ない。○ラポールゆやでの開催が常となっているが、市中央でされたほうが良いのでは。○外部団体との連携も可能ではないかと思う。○参加された方は、良い感想をもたれている。しかし、参加者が少ないのは残念である。各種団体、一度参加された方を使い、参加者を増やしてほしい。
------	--

番 号	3 4	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	文化財保存活用事業		
施 策 名	地域の伝統文化の保存		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>ながと歴史民俗資料室及び日置歴史民俗資料館において、本市の埋蔵文化財や民俗資料、歴史資料等を常設展示している。</p> <p>また、ながと歴史民俗資料室においては、山口県埋蔵文化財センターの巡回展を毎年1回実施し、あわせて長門市文化財保護協力員の研修会を開催している。</p> <p>児童生徒・一般市民の入館者を増やし、民俗文化の理解を広げていくことを目標とし、あわせて理解しやすい展示にも努める。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	1,687,000 円 (1,506,000 円)	1,700,000 円 (1,710,139 円)	1,724,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>ながと歴史民俗資料室は、年間約 500 名の入館者があり、昔の農具等を常設展示している。深川小学校の児童が授業の中で訪問することもあるが、入館者における一般市民の割合が少ない。</p> <p>また、日置歴史民俗資料館は、日頃改善センター職員により見学者への対応を行っており、日置ふるさとまつり開催時には、約 300 名の入館者がある。展示については、旧日置町時代の民俗資料や歴史資料が常設展示してあり、ここでも主要な入館者は日置小学校児童である。 (両施設の休館日は、土・日・祝日・年末年始)</p>		
課 題 と 今 後 の 取 組	<p>歴史民俗資料の展示のために、現在旧 1 市 3 町で保存収蔵している資料を専門的に整理・分類する体制が必要である。</p> <p>また、展示場所についても日置歴史民俗資料館、ながと歴史民俗資料室、旧油谷中央公民館(閉鎖中)があるが、より市民に身近な展示ができるよう施設間の連携等に取り組む必要がある。</p>		

〔事業名〕 文化財保存活用事業

外部評価	<p>○評価は入館者のみにあらず。</p> <p>○子どもたちの学習財として活用されているだけだが、貴重な物が保存されている。県の巡回展示の会場としたり、ふるさとまつりで開放したりして、市民の目に触れる機会を自然な形で増やしていけるとよい。</p> <p>○もっと活用の方法はないのか。持ち出して、教育現場に利用することは可能か。</p>
------	---

番 号	3 5	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	文化施設運営事業(くじら資料館・村田清風記念館)		
施 策 名	保存・継承活動への支援		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>鯨及び漁村文化に係る民俗資料の保存及び展示を行うくじら資料館の運営、維持管理を行う。(くじら資料館維持管理費)</p> <p>郷土の先賢である村田清風及び周布政之助の遺品と資料や、歴史民俗資料を展示する村田清風記念館の運営、維持管理を行う。(村田清風記念館維持管理費)</p> <p>市民及び市外の入館者を増やし、くじら文化や村田清風の業績に対する理解を広げていくことを目標とし、あわせて分かりやすい展示にも努める。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当初)
	13,892,000 円 (12,025,000 円)	13,082,000 円 (12,735,599 円)	12,859,000 円
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>くじら資料館については、国指定文化財である「長門の捕鯨用具」を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成 22 年度入館者数：12,788 人 平成 23 年度入館者数：12,178 人</p> <p>村田清風記念館については、村田清風及び周布政之助に関する遺品や資料等を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。</p> <p>平成 22 年度入館者数：3,521 人 平成 23 年度入館者数：3,172 人</p>		
課 題 と 今後の取組	<p>展示や来館者に対する説明など問題はないが、来館者増のための取り組みの必要性を感じている。</p> <p>また、くじら資料館は通地区の観光の拠点という側面もあることから、観光ボランティアとの連携などの検討も必要である。</p>		

〔事業名〕 文化施設運営事業(くじら資料館・村田清風記念館)

外部評価	<ul style="list-style-type: none">○小学生が足を運ぶ機会を増やしたり、PTA親子学習や家庭教育学級の見学に組み込んだりするなどの提案を続けていくことで、地域の歴史への関心を高めていきたい。○このような施設は経費がかかるわりには地味なものだが、維持していく必要はある。公開の工夫が必要ではないか。○観光客は来館すると思うが、一般市民の来館(入館)増のため、館独自の催し物を定期的に行う。
------	---